

1. 略歴

2008年3月	東京外国語大学外国語学部南西アジア課程アラビア語専攻卒業
2008年4月	東京外国語大学大学院地域文化研究科博士前期課程入学
2010年3月	同上 修了
2010年4月	東京外国語大学大学院総合国際学研究科博士後期課程進学
2010年4月	日本学術振興会特別研究員 (DC1) (～2013年3月)
2013年3月	東京外国語大学大学院総合国際学研究科博士後期課程修了
2013年3月	博士 (学術) 学位取得 (東京外国語大学)
2013年4月	日本学術振興会特別研究員 (PD) (～2016年3月)
2016年4月	名古屋外国語大学外国語学部 講師 (～2019年3月)
2019年4月	名古屋外国語大学世界教養学部 講師 (～2020年3月)
2020年4月	名古屋外国語大学世界教養学部 准教授 (～2023年3月)
2023年4月	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部 准教授

2. 主な研究活動

a 主要業績

(1) 学位論文

「現代イスラーム法思想の概念的検討——ムスリム・マイノリティ法学がイスラーム法学に提起する問題を中心に」
東京外国語大学大学院総合国際学研究科, 2013.3, 全142頁

(2) 著書 (単著)

『イスラーム神学』作品社, 2016.1, 全528頁

『イスラーム思想を読みとく』筑摩書房 (ちくま新書), 2017.10, 全254頁

(3) 著書 (共著)

中田考監修, 松山洋平著『イスラーム私法・公法概説——公法編』日本サウディアラビア協会, 2008.4, 全361頁

塩崎悠輝編著, ユースフ・アル＝カラダーウィー・赤瀬イマン・中田考・松山洋平・山本直輝著『マイノリティ・ムスリムのイスラーム法学』日本サウディアラビア協会, 2012.6 (「マイノリティ法学の領界」17-78頁を執筆)

松山洋平編著, 小布施祈恵子・後藤絵美・下村佳州紀・平野貴大・法貴遊著『クルアーン入門』作品社, 2018.5 (「クルアーンとは何か」15-36頁, 「ムスハフ——「本」となったクルアーン」69-95頁, 「クルアーンの構成」99-122頁, 「スンナ派のタフスィール」289-316頁, 「クルアーンにおけるイエス」447-468頁ほかを執筆)

松尾金藏記念奨学基金編『明日へ翔ぶ——人文社会学の新視点 2』風間書房, 2011.3 (「現代におけるイスラーム圏域論を巡る諸言論」387-404頁を執筆)

奥田敦・中田考編著『イスラームの豊かさを考える』丸善出版, 2011.6 (「ムスリム・マイノリティとイスラーム法学」196-213頁を執筆)

(4) 学術論文

「イスラームにおける「救済の確証」——マートゥリーディー学派を中心に」『宗教研究』第83巻第1号, 2009.6, 47-70頁

「ターハー・ジャービル・アル＝アルワーニーの思想と「クルアーンの主権」理論」『一神教世界』第1号, 2010.2, 65-77頁

“*Fiqh al-Aqalliyāt: Development, Advocates and Social Meaning.*” *Annals of Japan Association for Middle East Studies* 26 (2), 2011, pp. 33-55

「現代イスラーム思想における諸概念のポストモダン化に関する一考察——「イジュティハード」を例に」『言語・地域文化研究』第17号 (東京外国語大学), 2011.3, 127-138頁

「現代における「イスラーム」の語用論——入信体験の語りに見る動名詞的イスラームへの回帰」『一神教世界』第2号, 2011.3, 1-14頁

「ターハー・アルワーニーのクルアーン解釈理論——現代イスラーム思想におけるポストモダン性」『宗教研究』第85巻第1号, 2011.6, 75-98頁

- 「知識のイスラーム化の思想的展開——イスマーイール・アル＝ファールキーとターハー・アル＝アルワーニーを例に」『イスラム世界』第77号, 2011.10, 1-30頁
- 「「不信仰の地」における信仰者と不信仰者の境界——マートゥリーデー学派における宗教間対話の神学的基盤」同志社大学一神教学際研究センター編『総括研究発表会 多文化共生時代における一神教間の相互作用と対話報告書』同志社大学一神教学際研究センター, 2013.12, 9-20頁
- 「「不信仰の地」におけるイスラーム——マートゥリーデー学派における宣教未到達の民の信仰」『一神教世界』第5号, 2014.3, 89-101頁
- 「マートゥリーデー学派の信仰非増減説と信仰概念の射程」『オリエント』第57巻第1号, 2014.9, 18-32頁

(5) 書評

- 「塩崎悠輝著『国家と対峙するイスラーム——マレーシアにおけるイスラーム法学の展開』（作品社, 2016年）」『週刊読書人』2016年8月12日号（第3152号）, 第4面
- 「スコット・L・モンゴメリ著『翻訳のダイナミズム』（白水社, 2016年）」『週刊読書人』2016年11月4日号（第3163号）, 第4面
- 「アブドゥルハミード・アブー・スライマーン著『クルアーン的世界観』（作品社, 2017年）」『週刊読書人』2017年10月6日号（第3209号）, 第4面
- 「飯山陽著『イスラーム教の論理』（新潮社, 2018年）」『オリエント』第61巻第1号, 2018.9, 74-78頁
- 「井筒俊彦著（鎌田繁監訳, 仁子寿晴・橋爪烈訳）『イスラーム神学における信の構造——イマームとイスラームの意味論的分析』（慶應義塾大学出版会, 2018年）」『イスラム世界』第92号, 2019.11, 53-60頁

(6) 原典翻訳（単行本）

- 松山洋平訳, 水谷周監修, アル＝ジャズイーリー『礼拝の法学』日本ムスリム協会, 2011.10, 全227頁（原語アラビア語）
- 松山洋平編訳『イスラーム神学古典選集』作品社, 2019.2, 全329頁（原語アラビア語）

(7) 原典翻訳（その他）

- アル＝マクディシー「奴隷解放」（『ザード・アル＝ムスタクニウ』より）浜本一典・中田考・松山洋平・前野直樹著『イスラーム私法・公法概説——家族法編』日本サウディアラビア協会, 2009.4, 23-24, 87-97頁（原語アラビア語）
- アル＝マクディシー「婚姻」（『ザード・アル＝ムスタクニウ』より）浜本一典・中田考・松山洋平・前野直樹著『イスラーム私法・公法概説——家族法編』日本サウディアラビア協会, 2009.4, 24-29, 99-185頁（原語アラビア語）
- ユースフ・アル＝カラダーウィー「マイノリティ・ムスリムのイスラーム法学」塩崎悠輝編著, ユースフ・アル＝カラダーウィー・赤瀬イマン・中田考・松山洋平・山本直輝訳『マイノリティ・ムスリムのイスラーム法学』日本サウディアラビア協会, 2012.6, 104-246頁（原語アラビア語）
- ムハンマド・タイムール「子供だった彼は、そして青年になった」沼野充義・藤井省三編『囚われて』名古屋外国語大学出版会, 2021.11, 225-239頁（原語アラビア語）
- 「アラビア語圏」（マジュヌーン・ライラー, ジャミール・ブサイナ, カイス・ルブナー, イブン・ザイドゥーン）亀山郁夫・エリス俊子編『愛, もしくは別れの夜に』名古屋外国語大学出版会, 2023.3, 12-35頁（原語アラビア語）

(8) その他

- “The Japanese People and Islam,” *Islam and Civilisational Renewal* 1 (4), 2010, pp.710-712
- 「マートゥリーデー学派研究の諸側面」『日本中東学会年報』第29巻第1号, 2013.7, 145-159頁
- 「クルアーン正統十説誦注解」中田考監修『日垂対訳 クルアーン』作品社, 2014.8, 671-758頁
- 「現代中東・イスラームの諸問題を考えなおすための五冊」Artes MUNDI 第1号, 2016.3, 64-67頁
- 「ムスリムは何を信じているのか？」SYNODOS (<http://synodos.jp/society/16723>), 2016.5
- 「なぜムスリム社会はISを「破門」しないのか？」『イスラーム思想を読みとく』著者, 松山洋平氏インタビュー」SYNODOS (<https://synodos.jp/newbook/20691>), 2017.11
- 「ユルイ鉛筆」（リレーエッセイ・つながりβ 第5回）『ゲンロンβ28』（電子版）ゲンロン, 2018.8
- 「イスラーム教の世界——イスラームへの関心の広げ方」『現代イスラーム——学ばれることのないもの』名古屋外国語大学編『世界教養72のレシピ』名古屋外国語大学出版会, 2018.9, 84-86, 223-225頁
- 「私とアラブ」名古屋外国語大学編『世界言語12の燦めき』名古屋外国語大学出版会, 2018.10, 67-72頁
- 「イスラーム神学・思想史」（読書案内）『歴史と地理』第721号, 2019.2, 46-49頁

- 「イスラムがもっと「わからなく」なる、ナマモノ5選」ハイブリッド型総合書店 honto
(https://honto.jp/booktree/detail_00008817.html), 2019.3
- 「イスラミックポップとヨーロッパ」(イスラームななめ読み 第1回) 東浩紀編『ゲンロン10』ゲンロン, 2019.9, 280-284頁
- 『第二外国語で学ぶアラビア語入門』名古屋外国語大学出版会, 2020.3, 全169頁
- 「WLAP 応用科目「イスラム教の世界」」『名古屋外国語大学論集』第7号, 2020.7, 57-67頁
- 「イスラム」VS. 「イスラム教」(イスラームななめ読み 第2回) 東浩紀編『ゲンロン11』ゲンロン, 2020.9, 387-391頁
- 「神学——イスラームの信仰を解き明かす」鈴木董・近藤二郎・赤堀雅幸他編『中東・オリエント文化事典』丸善出版株式会社, 2020.11, 168-169頁
- 「大日本帝国の汎イスラム主義者」(イスラームななめ読み 第3回) 東浩紀編『ゲンロンβ57』(電子版) ゲンロン, 2021.1
- 『『東京ノ回教徒』——知られざるイスラムの人々と出会う』石田聖子・白井史人編『世界は映画でできている』名古屋外国語大学出版会, 2021.3, 210-211頁
- 「アッラーのほか、仏なし」(イスラームななめ読み 第4回) 東浩紀編『ゲンロンβ63』(電子版) ゲンロン, 2021.7
- 「ノックの作法と秘する文化」(イスラームななめ読み 第5回) 東浩紀編『ゲンロン12』ゲンロン, 2021.9, 450-454頁
- 「日本・イスラーム・文学——中田考『俺の妹がカリフなわけがない!』について」(イスラームななめ読み 第6回) 東浩紀編『ゲンロンβ69』(電子版) ゲンロン, 2022.1
- 「アラビア語」名古屋外国語大学出版会編『アフターハイスクール——日本の中心で出会う多文化・多言語』名古屋外国語大学出版会, 2022.1, 32-37頁
- 「田舎者のサイバー・ジハード」(イスラームななめ読み 第7回) 東浩紀編『ゲンロンβ73』(電子版) ゲンロン, 2022.5
- 「神学」「巡礼(概論)」「聖遷」「ラマダーンの実践(日本)」八木久美子他編『イスラーム文化事典』丸善出版株式会社
- 「ニッポンのムスリムが自爆するとき」(イスラームななめ読み 第8回) 東浩紀編『ゲンロンβ76+77』(電子版) ゲンロン, 2022.9
- 「イスラーム教と現代日本の宗教観」(イスラームななめ読み 第9回) 東浩紀編『ゲンロン13』ゲンロン, 2022.10
- 「これからのクルアーン翻訳、あるいはアダプテーション」(イスラームななめ読み 第10回) 東浩紀編『ゲンロンβ79』(電子版) ゲンロン, 2022.12
- 「共生のイスラーム法学」とは何か」(イスラームななめ読み 第11回) 東浩紀編『ゲンロン14』ゲンロン, 2023.3
- (9) **口頭発表**
- 「マートゥリーデー派における「救済の確証」教義の形成」日本宗教学会第67回学術大会, 2008.9.14, 於筑波大学
- 「少数派フィクフの理論とその現代的意味」平成20年度 中東☆イスラーム教育セミナー, 2008.9.19, 於東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- 「少数派フィクフの理論と論客——イスラーム法の新潮流」日本宗教学会第68回学術大会, 2009.9.12, 於京都大学
- “The True Situation of Japanese Muslims and the Mission of the Malay World for Da‘wah to them: Some Basic Reflections,” Panel Discussion about Japan and Islam, 1st March 2010, International Institute of Advanced Islamic Studies (IAIS) Malaysia, Kuala Lumpur.
- 「ターハー・ジャービル・アル＝アルワーニーにおけるシャリーア観：現代イスラーム法のエートス」平成22年度 中東☆イスラーム研究セミナー, 2010.12.15, 於東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- 「イスマール・アル＝ファールキーの「知識のイスラーム化」論の射程とその展開」日本中東学会第27回年次大会, 2011.5.22, 於京都大学
- “Fiqh al-Aqalliyat: Islamic Jurisprudence for Co-existence,” International Symposium: Conflicts and Enrichment through Interreligious Encounters: Remembering the Past and Envisioning the Future of Judaism, Christianity and Islam, 18th February 2012, Doshisha University.

“Expressivism in the Contemporary Muslim Mind: A Pragmatic Analysis on Cognition on ‘Faith’ in Speeches of ‘Lay’ Muslims,”
One Day Workshop on Shariah, Governance and Interreligious Relations, 29th February 2012, International Islamic University
Malaysia.

「マイノリティ法学とは何か?——日本におけるイスラームの法的実践に向けて」2012年国際イスラーム思想研究所
ワークショップ「ムスリムの日本社会への定着——アキダ、フィクフ、社会関係」2012.6.9, 於多摩スポーツセ
ンター (アブマド塩崎悠輝編『ムスリムの日本社会への定着——アキダ、フィクフ、社会関係』2012年国際イ
スラーム思想研究所ワークショップ報告, 67-70頁)

“Possibility of ‘Theology in a Land of Infidelity’ in Islam: Focusing on Māturīdism,” International Joint Workshop: Shariah,
Governance and Interreligious Relations, 1st March 2013, Doshisha University.

「マートゥリーデー学派研究の射程と今後の課題」日本中東学会第29回年次大会, 2013.5.12, 於大阪大学

“The Boundary between Muslim and Non-Muslim in Non-Islamic Countries: Theological Basis for Interfaith Dialogue,” The Joint
Seminar, International Centre for the Alliance of Civilisations (INTAC), Department of Usuluddin & Comparative Religion,
KIRKHS, IIUM and CISMOR, Doshisha University in Kyoto on Shariah, Governance and Interreligious Relations, 26th
October 2013, International Islamic University Malaysia.

「「不信仰の地」における信仰者と不信仰者の境界——マートゥリーデー学派における宗教間対話の神学的基盤」
多文化共生時代における一神教間の相互作用と対話 (頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム
総括研究会), 2013.12.14, 於同志社大学

「アブルバカー著『クッリーヤート』における「承認」と「確信」」日本宗教学会第75回学術大会, 2016.9.10, 於早
稲田大学

「イスラームにおける信仰の条件——罪ある者と無知なる者の信仰」日本イスラーム協会2017年春季公開講演会,
2017.5.13, 於東京大学

(10) 受賞

第37回 (平成27年度) 日本オリエント学会奨励賞, 2015.10

3. 主な社会活動

(1) 非常勤講師

東京外国語大学外国語学部 (2013.10~2014.3)

東京外国語大学世界教養センター (2013.10~2014.3)

名古屋外国語大学現代国際学部 (2014.4~2015.3)

東京外国語大学現代文化学部・国際社会学部 (2014.10~2015.3)

名古屋外国語大学外国語学部 (2015.4~2016.3)

(2) 学会

日本宗教学会 (2008.4~現在)

日本イスラーム協会 (2010.4~現在)

日本中東学会 (2010.6~現在)

日本オリエント学会 (2013.5~現在)